



# 和歌山市 水道ビジョン 2024

和歌山市企業局

# 和歌山市 水道ビジョン 2024





## ごあいさつ

本市の水道は、大正10年(1921年)に創設認可を受け、大正14年(1925年)に給水を開始し、都市の発展に伴う人口増加や社会環境に併せて、これまで4期にわたる拡張事業を行い、市民の皆様安心して安全な水道水の安定供給に努めてまいりました。

水源である紀の川は、日本最雨地帯である大台ヶ原を源流とし、本市の中央部を東西に流れ、紀伊水道に注ぐ一級河川であり、本市の水道に欠かせない存在です。また、本市の歴史や文化にも深く結びついています。

令和3年10月3日、その紀の川を横断し、本市の北部地域に水を供給している六十谷水管橋が崩落し、市民の皆様大変ご迷惑をお掛けしました。水道施設は、社会生活に必要なライフラインであることを再認識し、水道事業を営むものとして、今一度、本市水道事業の発展・継続に、新たな気持ちで取り組んでいかなければならないと考えています。

近年は、水道を取り巻く情勢は大きく変化しており、国においては、急速に進む人口減少への対応や、東日本大震災の経験をもとにした震災対策の抜本的な見直し等のため、2013年に「新水道ビジョン」が策定されました。

本市においても、人口減少や節水型機器の普及により水需要の減少が続き、水道事業の経営環境がますます厳しくなるなか、今後30年以内に70~80%の確率で発生が予測される南海トラフ地震への対策や、老朽化の進む施設・管路の更新等に取り組む必要があります。

これらの問題に対応するため、水道事業の現状と将来の見通しを分析・評価し、本市企業局の方向性を示す理想像を掲げ、具体的な施策を定めた「和歌山市水道ビジョン2024」を策定しました。

本ビジョンの基本理念である「安心を未来につなぐ 元気わかやま水道」の実現に向け、より市民の皆様安心して水道をご利用いただけるよう計画を推進してまいりますので、今後ともご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びに、本ビジョンの策定にあたり、ご意見、ご提案をいただきました和歌山市新水道事業ビジョン検討会議の委員の皆様をはじめ、関係各位に対し、心からお礼申し上げます。

令和6年3月

和歌山市公営企業管理者

瀬崎 典男





# INDEX 目次

## 第1章 和歌山市水道ビジョン2024の趣旨と位置づけ

1-1 策定趣旨 .....	02
1-2 位置づけ .....	03

## 第2章 水道事業の概要

2-1 和歌山市の概要 .....	06	2-3 水道事業の概要 .....	11
2-2 水道事業の沿革 .....	07		

## 第3章 水道事業を取り巻く環境

3-1 人口と水需要の減少 .....	22	3-4 災害リスク .....	26
3-2 給水収益の減少 .....	23	3-5 職員の高年齢化 .....	29
3-3 老朽化による更新需要の増大 .....	24		

## 第4章 和歌山市の水道が目指す理想像

4-1 基本理念 .....	32	4-3 施策の体系図 .....	33
4-2 理想像 .....	32	4-4 施策全体マップ .....	34

## 第5章 施策と具体的な取組

理想像「安全」:安心・安全な信頼される水道 .....	38
理想像「強靱」:災害に強い頼りになる水道 .....	48
理想像「持続」:将来にわたり持続可能な水道 .....	58

## 第6章 今後の投資・財政計画

6-1 今後の事業計画 .....	70	6-3 水道料金への影響 .....	74
6-2 財政見通し .....	72	6-4 今後の水道事業運営 .....	75

## 第7章 フォローアップ

フォローアップの実施方針 .....	80
--------------------	----

## 資料編

用語集 .....	86	パブリックコメント 概要 .....	96
新水道事業ビジョン検討会議 概要 .....	95		





## 和歌山市の「き章」について

和歌山市は三方山に囲まれ、西は紀伊水道をへだてて、淡路島、四国が見える風光明媚な温暖の地です。その和歌山市の力強い発展をき章が表しています。

山の形の印は、和歌山市は三方山に囲まれているので、その地形を表し、白い矢印は和歌山市発展の勢いを表しています(三方の山を貫く市民の力)。二重丸に見える部分はワカ山の力(カタカナ文字)を図案化したもの。和は和カヤマの和を表しています。(明治42年制定)